

ふじみ

市議会 だより

No. 169

平成28年第3回(9月)定例会<会期日程>

9月13日・16日

本会議

開会 会期の決定
議席の指定
市長所信表明
陳情の常任委員会付託
議案内容説明・報告
議案の総括質疑
議案の常任委員会付託

20日・21日・26日・27日

10月6日

常任委員会

議案及び陳情の審査
予算決算議案の審査

9月28日

10月 3日・4日・5日

本会議

市政一般質問

12日

本会議

委員会審査報告及び採決
議員提出議案審議
閉会

平成27年度の決算審査行われる

平成28年第3回(9月)定例会が、9月13日から10月12日まで行われました。

今定例会では、平成27年度の一般会計決算議案、国民健康保険をはじめとした5つの特別会計決算議案と、水道・下水道事業の企業会計決算議案について、予算決算常任委員会の3つの分科会で審査しました。

決算議案以外では、特別会計条例及び税条例の一部改正、土地開発公社の解散、平成28年度一般会計補正予算など、全部で12件の案件が市長から提出され、審査の結果、先の決算議案を含め、すべて原案のとおり可決・認定、承認しました。

9月28日から10月5日まで行われた市政一般質問には19人の議員が登壇し、執行部の考えをただしました。市民から提出された4件の陳情については1件を採択しました。

議員提出議案7件については、「次期介護保険制度改正における福祉用具及び住宅改修の見直しを求める意見書」、「地方議会議員の選挙期間中のビラの配布を可能とする公職選挙法改正を求める意見書」、「バングラデシュ・ダッカにおけるテロ事件に関する議決について」、「砂川堀雨水幹線の抜本的な治水対策を求める意見書」、「富士見市災害見舞金支給条例の見直しに関する決議」の5件を原案のとおり可決し、2件を否決としました。



「晩秋」 水谷東小学校裏 撮影者 内田 邦博氏(関沢在住)

平成28年第3回(9月)定例会 審議結果

議案等番号	議案等の名称	議案等番号	議案等の名称
70	富士見市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	85	平成27年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
71	富士見市税条例の一部を改正する条例の制定について	87	平成27年度富士見市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
72	富士見市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	89	富士見市土地開発公社の解散について
73	富士見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	報告6	平成27年度富士見市土地開発公社決算について
75	平成28年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	報告7	平成27年度公益財団法人キラリ財団決算について
76	平成28年度富士見市介護保険特別会計補正予算(第1号)	陳情10	採択された請願・陳情のその後の処理状況のウェブ公表を求める陳情
77	平成28年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	議9	次期介護保険制度改正における福祉用具および住宅改修の見直しを求める意見書の提出について
78	平成28年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	議10	地方議会議員の選挙期間中のビラの配布を可能とする公職選挙法改正を求める意見書の提出について
79	平成28年度富士見市公共用地先行取得事業特別会計予算	議11	バングラデシュ・ダッカにおけるテロ事件に関する議決について
83	平成27年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	議12	砂川堀雨水幹線の抜本的な治水対策を求める意見書の提出について
84	平成27年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	議13	富士見市災害見舞金支給条例の見直しに関する決議について

※「報告」については採決の対象ではありません。

○賛成 ×反対

議案等番号	議案等の名称	審議結果	21・未来クラブ		草の根			公明党		日本共産党		ネ	絆									
			甲	乙	尾崎	今成	勝山	伊勢田	八子	加賀奈々	津波	深瀬	加藤	篠田	大谷	寺田	小川	川畑	加藤	根岸		
74	平成28年度富士見市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	平成27年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	平成27年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	平成27年度富士見市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	平成27年度富士見市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情9	富士見市非核平和都市宣言の検証・見直しを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情11	各種団体からの市当局への要望書・市の回答等のウェブ公開を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情12	勝瀬原特定土地区画整理組合が提起した平成20年土地明渡等請求訴訟への市職員の関与の有無について調査を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議14	沖縄高江におけるオスプレイヘリパッド建設の中止を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議15	安保法案の発動を中止することに関する意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※表中、会派の「ネ」は富士見市民ネットワーク、「絆」は市民の絆を省略し表記しています。 ※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。

市議会議員の年賀状・暑中見舞状・祝金等寄附行為は、法律で禁止されております。皆様のご理解をお願いします。

9月28日・10月3日・4日・5日の4日間にわたり19人の議員が、市民生活に関わる諸問題をはじめ、富士見市の将来を見据えた課題や施策等市政一般について、市長・教育長等の考えをたどりました。ここでは、定められたスペースで質問者が執筆した原稿を掲載しました。

市民生活・防災などで活発な発言

市民目線のまちづくり
吉田 和江(21・未来クラブ)

斉藤 隆浩(21・未来クラブ)

心ふれあう安心のまちづくり
関野 兼太郎(21・未来クラブ)

田中 栄志(21・未来クラブ)

大谷 順子(日本共産党)

小川 匠(日本共産党)

川畑 勝弘(日本共産党)

①市長マニフェストについて
国道254号バイパス沿いに企業誘致を掲げた根拠は。

②交通安全性の観点から企業立地の優位性を認識している。一部、ほ場整備もされており、農業環境に配慮した土地利用が求められているため、多面的な視野に立ち研究していく。

③実現の目途は。
国・県など関係機関との調整・協議に時間を要するため、詳細な時期の答弁は控えるが、早期の事業実現に向け全力で取り組む。

④課題があるが、プロジェクトチーム立ち上げの構想は。関係部局とすり合わせ中の状況。平成29年度予算に打ち込めるようにしたい。

⑤シテイゾーンの更なる開発について。
未整備のバイパス東側は、既存の集落や豊かな自然環境も残されている。住環境に配慮しながら、賑わいと雇用の創出に繋がる土地利用の検討を進めて行く。

①市長提言「ふじみビジョン21+」について
提言のひとつ、市役所元氣宣言「創改感」の具体策は。

②職員英知を結集し縦割りでない横の繋がりを意識し創意工夫をする。行財政改革には「稼ぐ力」も必要である。常に感謝の心を忘れず、市民協働でまちづくりを進める。

③元氣な市役所とは。
元氣な職員が活躍し、自由闊達な議論ができる環境づくりをし、市長自ら支える。

④安心安全について
台風9号被害での山室勝瀬地区の検証は。

⑤改善すべき複数の課題も出たと認識し、地域防災計画の見直しの着手も考える。砂川掘雨水幹線の越水等もあり関係市町とも連携を図り、県に対し必要な対策の早期実現を働きかける。

⑥市民総合体育館について
工事の進捗状況は。

⑦平成29年5月の再開を目指し順調に工事が進んでいる。オープンイベントも検討中であり、再開前に利用方法も含め市民に周知する。

①「ふじみビジョン21+」の具現化について
水谷柳瀬川地区に教育機関誘致とあるが、具現化は。

②教育機関や産業系を中心とした土地利用を基本的整備方針として検討を進めている。事業実現に向け積極的に取り組んでいきたいと考えている。

③市内商業の活性化に向けた支援の在り方は。
第2次商業活性化ビジョンに基づき、強い個店を目指した取り組みを進めている。また、「産業振興基金」の設置の検討など、更なる活性化に向けた取り組みを進める。

④災害に備えるまちづくりについて
台風9号の対応への課題をどう認識しているのか。

⑤事前準備、情報の収集発信など多様な課題を認識した。情報発信の一手段として、緊急速報メールの利用は。

⑥今回は活用していない。防災行政無線の放送内容をテレフォンサービスとして市民に提供したらいかがか。

①市長の政策方針について
市の未来を一緒に考えるために市民に求めることは。

②自治基本条例の理念に基づき、それぞれの立場での役割を担っていただきたいと思っている。併せて、これまで以上にまちに関心や愛着を持つて頂き、まちづくりを一緒に考えて頂きたい。

③平成29年度予算編成方針について
市長の政策方針はどのようになっているのか。

④「ふじみビジョン21+」に基づく取り組みについては、第5次基本構想後期基本計画に反映し、予算化を図ってきたいと考える。

⑤旧暫定逆線引き地区(諏訪地区、水子地区)市街化区域編入後の状況と課題について
今後の具体策は。

⑥今後も地区計画の適正な運用とともに、地権者の意向を確認しながら、小規模土地区画整理事業の誘導、道路、下水道などの公共施設整備等に、所管課と事業間の連携を図りながら、地域のまちづくりを推進したいと考えている。

①新市長の市政運営方針は
住民生活の維持と向上、地域経済活性化のため、市民の負担増をいとめる方針を。

②市民に各々事情はあるが公正公平で適正な負担をお願いしていると思っている。

③企業誘致のため、固定資産税の軽減免除や水道加入金・料金助成等するべきとの市議時代の考えは今も同じか。
変わらない。

④住民生活を困難にしている税や保険料負担は減らさず、居住も納税もしていない他所からの企業を、税免除条件で誘致するのは憲法や地方自治法に照らしておかしいのでは。

⑤企業が雇用を増やし、市民の暮らしを守ることもある。唐沢堀の水害対策を。
台風9号による唐沢堀の急な増水の被害は。

⑥住宅への浸水は床上6軒・床下10軒の合計16軒。急な増水を防ぐため、上流の三芳町と改善策の協議を。三芳町に雨水の流出抑制を引き続き要請する。

①安心できる介護を
来年4月から要支援1、2の訪問・通所介護が介護保険から外れるのが変わるから地域支援事業費の給付に移行する。

②制度が変わっても利用者には従来通りの介護サービスが保障されるのか。
現在サービス提供の基準について検討している。基準は二つ設ける予定。国基準では従来通りの基準で現行水準が保たれ、専門的サービスを必要とする人の利用を想定。緩和される基準では、人員等の基準を緩和して、多様なサービスの充実や新たな担い手の創設につなげたいが、手を挙げる事業所が少ないのではと危惧している。なお、ボランティアによるサービス提供は現時点では考えていない。

③事業所が手を挙げないのはなぜか。
経営の問題かと思われる。基準を緩和することで介護報酬は下がる。それが経営ベースに乗るかどうかが事業者も悩んでいるのではないかと。

④台風9号について
砂川掘氾濫の検証は。

⑤上流域の所沢で猛烈な雨が上昇し越水した。現在、県に対し検証を要請している。

⑥新河岸川への放流量が毎秒44m³と規定があったが昨年1月に毎秒65m³に変更した。埼玉県と連携し「河川・下水道事業調整協議会」を設置し、今後、水害にあわなないための方策を。

⑦今後、検討していく。
ららぽーと富士見の建設時に、市・住民と雨水対策について協議し、「県基準の約1.3倍の貯水機能を持ち、水害を抑制する」とのことだったが、隣接の住宅地は床上浸水した。雨水貯留施設はどの様な状況だったか。

⑧ららぽーとには、3つの雨水貯留施設があり2つは異常高水位・岡川排水区の貯留施設は7時間にわたり機能したが満水の状況にはなかった。

⑨富士見市災害見舞金は2万円で、単身世帯は半分の1万円になっている。見直しを。今後、検討していく。

⑩大学・高校入学金の貸付けや給付制奨学金を実施すべき。検討は。

⑪現在の利子補給制度の拡大について研究している。

⑫すこやか支援員の増員と時間の拡大を
各学校から出された支援員希望数の合計は何人か。
48人。

⑬子ども貧困対策について
ニーズ調査アンケートの対象世帯と回収状況は。
何らかの公的支援を受けている1614世帯・回収率50.6%、一般1495世帯・回収率59.4%である。



治水対策が求められる砂川堀(平常時に撮影)

寺田 玲(日本共産党)

①学校図書館の充実を
学校図書館に資格を持った司書の配置と、読書推進支援員の日数の拡大を。

②資格者の配置は有意義とは思いますが、確保が難しいため、今後も専門性の高い推進員配置に努めていく。

③子ども貧困対策について
ニーズ調査アンケートの対象世帯と回収状況は。
何らかの公的支援を受けている1614世帯・回収率50.6%、一般1495世帯・回収率59.4%である。

④大学・高校入学金の貸付けや給付制奨学金を実施すべき。検討は。

⑤現在の利子補給制度の拡大について研究している。

⑥すこやか支援員の増員と時間の拡大を
各学校から出された支援員希望数の合計は何人か。
48人。

篠田 剛(公明党)

①台風被害や対策について
市民に説明会をすることの見解について。

②被害の大きかった山室地域において、町会等を通じて庁内関係部署と連携し、懇談の機会を設ける。

③今後の対策について。
埼玉県に対し、新河岸川への吐口の改修や堤防の嵩上げ、治水安全度の向上対策の実地について、流域関係5市1町が連携し要望していく。

④視覚障がい者誘導ブロックやホームドアについて
本市の取り組みについて。
計画的に視覚障がい者誘導ブロックやエスコートゾーンの設置を検討していく。

⑤ホームドアの設置については東武東上線改善対策協議会を通じ、市内3駅への設置について要望していく。

⑥水谷・柳瀬川地区周辺の土地活用推進について
教育機関や企業等の誘致について。
平成26年度より第一段階の整備として「教育機関の誘致」について検討し、地域地権者の賛成を頂いている。

議会を傍聴しませんか(9月定例会の傍聴者数は212人でした)

富士見市議会では、本会議及び委員会が公開となっています。市民の皆さんの代表である議員の活動や審議の状況を直接傍聴してみませんか。議会事務局で住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取り傍聴席に入ることができます。開会前にご申請頂ければ、議会の撮影も可能です。

また、手話通訳を希望する場合には、早目に事務局へお知らせください。なお、ご希望の日に対応できない場合もありますので、あらかじめご了承願います。

次回定例会について

11月29日(火) 開会の予定です。

《議会事務局》 電話 049-251-2711 内線165・166
FAX 049-255-9637
メールアドレス gikai@city.fujimi.saitama.jp

①市長に問う

鶴瀬駅東西口の交通体系での立体化について。

地域の活性化のためには立体化し分離することが有効である。市長として積極的に東武鉄道に要望していく。

学校給食の無償化は。経済的理由の場合これまでも補助制度によって負担の軽減をしている。学校給食法で示されている負担については、自治体が負担することは過去の判例では違反するものではない。しかし公費負担は大きい。現状で考えている。

総合運動公園について。既存の施設を充実させる。

②スポーツ振興について。公園でのボール遊びは。柔らかいボールであれば迷惑をかけない範囲で可能としている。

大人の目で見守る公園プレーリーダー制度を。先進事例を参考に実施できるかどうか検討する。

③墓地・埋葬等について。公営墓地の設置は。市民ニーズはあるが、ハードルが高く困難である。

①「市民と共に水害対策の強化」の推進について

市民ができる浸水対策について。

地域防災計画の見直しと併せ、ハザードマップや地域防災ガイドラインの見直しを行い、更なる周知を図る。

②デマンド交通の導入について。市内公共交通に対する市長のビジョンについて。

市内公共交通環境の変化から見直しは必要と考える。今後、富士見市にふさわしい地域公共交通ネットワークの構築に行政が主体となり計画的な取り組みが必要と考える。

③小・中学生に身近な富士見市議会について。市制45周年を記念に子ども議会の開催を。

「子ども議会」の開催は子どもたちの身近な問題や市への思いや考えを反映させるよい機会。今後、会議の実施時期や方法などを踏まえ、関係各課と連携を図り、子どもたちの意見も参考に、市政にどう反映するかも含め研究していく。

①住みよい街づくりのため、市民の願いの実現について

生活が困難な若者への住宅確保の支援、対応について。

生活サポートセンターへの相談者72名に対応。周知を図るためにポスター、ITなどの活用を考えは。考えていない。

子ども食堂の取り組みについての情報把握は。団体が水谷地域で検討中。

今後の情報公開、タウンミーティングの開催の予定は。情報公開は重要、要望により地域での懇談を考えると。命と暮らしを守るためにハザードマップの活用と避難所運営について。

自主防災会の防災訓練等で研修資料として活用。避難所を想定した図上訓練など実践的な訓練に取り組んでいる。

防災行政無線の改善は。工事完了後、改善予定。③さらに満足度の高い図書館サービスに向けて。渋谷定輔 文庫資料の劣化防止と活用を図るため、デジタルデータ化の検討を。資料の状態を確認する。

①台風9号及び10号の対策について

有事の際に避難所となる小中学校にWiFi環境を早急に整えるべきだと考える。見解を聞きたい。

総務省が20年までに全国全ての小中学校にWiFi環境を導入する方針を打ち出している。

公的援助を受ける上での元となる罹災証明書発行の迅速化の対策について。

水害時を含む罹災証明書発行の役割分担を再検討していきたい。

防災行政無線が届かない人の為でもある防災メールの配信は、必要であったと考える。市の見解は。

交通情報の案内以降、エリアメールを含め配信できなかったことは今後の反省とさせて頂きたい。

大規模災害を含む、災害時用SNSや専用アプリが必要であると思うが。情報の識別化という見地からも有効であると認識し、今後研究していく。

①市長政策方針「富士見市型の地域包括ケアの仕組」について

現状と今後の方向性は。定期巡回・随時対応型訪問介護看護の来年度からの導入や、今年度は社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置した。今後は医療と介護の連携、自立した生活に向けての介護予防活動の推進等のために関係機関との検討を継続的に行う。

②在宅の心身障がい者を介護する家族への支援について。障がい者支援計画に明記すべきと思うが市の考えは。来年度、ニーズや課題を整理し、新たな計画の策定を予定している。医療ケアを要する障がい児への支援について、当該者や関係者等の意見を伺いながら、努めていく。

③鶴瀬東2丁目付近の東武東上線線路下を人が往來できるように整備することについて。対応方針は。歩行者の安全確保の空間が不足している水害時にも危険である。通行路設置は困難。

①ふじみ野地域について

ふじみ野地域の課題は。コミュニティをいかに醸成するかである。ふじみ野東地域の町会設立を側面から支援する。

西口ロータリーを駐車場など一部改修してはどうか。ロータリー面積が狭く、技術的に駐車場設置は困難。

②台風被害について。災害発生時、救出活動等で市民がケガをした場合には市民活動保険適用になるのか。保険対象外である。

共助での活動を支えるために新たな対応策を。研究していきたい。

多数の浸水被害が出た山室地域の市民へ丁寧な対応を。丁寧に対応していきたい。

災害時運用マニュアルは適正に活用されたか。課題を整理し、地域防災計画を見直ししていきたい。

③障がい者雇用について。雇用に向けた企業を表彰してはどうか。同様の事業を県で行っており、結果を県のホームページで紹介している。

①本市で実施している介護職員初任者研修について

通常の約10分の1の費用で資格を取れるが、市内介護事業所に就業しない人が3分の2である。多くの自治体は「一定期間、自治体内の介護事業所に就職した場合は助成する」としている。このような制度にすべきではないか。

現状どおりで考えている。②水害対策について。台風9号時、水谷小学校が避難所となった。災害対策本部との連携、情報伝達など課題があったと思うがどうか。課題はあった。今後に活かしていきたい。

貝塚地区、下の谷公園、ひばり台の広場が深く大きな池となった。遊水池である事は理解するが、あと20センチで住宅地に流れ込む状態となっていた。対策を。排水ポンプ車を増やすなどを考えていく。

当池は住宅地まで数メートルの所に位置し、誤って転落する危険性もある。非常時は物理的な閉鎖をすべきでは。注意喚起を行っていく。

①入学準備金制度の充実を。200年に入学準備金制度が廃止された議論の経過は。国の教育ローンが導入されたため廃止。より利用しやすい国の教育ローンの利子補給制度に代わっている。現行の利子補給制度の拡充を検討している。

現行制度の限度額70万円をどの程度拡大するのか。まだ決まっていないが前向きに検討する。来年度の予算増額も検討。

②早期にデマンド型交通の試験運転を。市道第904号線(つるせ台小学校から上沢整形外科に通じる道)開通後循環バスの路線変更は。路線変更は地域公共交通会議で検討する。

特に高齢化の進む地域には早急に公共交通を導入すべきと考えるが地域公共交通会議の進捗状況は。アンケート結果を活かすためにも早急にデマンド型交通の試験運転を。検討する。

新議員の紹介

平成28年5月に金子勝議員と吉野欽三議員が辞職したため、2人の欠員が生じました。このため、さる7月31日に実施された市議会議員補欠



11

上杉 考哉
21・未来クラブ
文教福祉常任委員会
針ヶ谷1丁目2番地13
ベレーシース
西原203
090-1451-0827



19

加賀 奈々恵
草の根
建設環境常任委員会
鶴瀬東2丁目16番23号
レフィナード
102
080-4051-7711

選挙において、左記の2人が当選しましたので、紹介いたします。

議席番号 氏名 ①所属会派
②所属常任委員会 ③住所 ④電話番号

伊勢田 幸正 (草の根)

①条例について

市執行部は条例改正案作成の過程で「新旧対照表」を作成しているが、現在、市のホームページには難解な「改め文」方式の正式な議案しか掲載されていない。これでは市民には分かりにくい。ぜひ対照表も公開しては。

市民へのわかりやすさを踏まえ、検討していく。アパルトなどで問題になるごみ出しのマナー違反に対応する条例改正を考えては。先日、策定した美化推進

八子 朋弘 (草の根)

計画に基づき、啓発に努めていくことに対応する。

②動物愛護について。災害時にペットと避難された場合の対応について、どう検討していくのか。新しい課題と認識。環境省・県の文書を踏まえ、町会と具体的な避難所運営についての検討の中で議論していく。

埼玉県との連携で、災害時に避難所で動物対応に協力してもらおう「災害時動物救護活動ボランティア登録制度」があるが、登録者と連携は。まだ連携ができていない。

①市長が目指す富士見市の姿について

基本は前市長の継承ということだが、「子供にツケをまわさない」という方針も受け継いでいる。市長の任期4年間で、市の債務は減るのか。極力減らしていきたいが、公共財の整備等、必要な起債は行うので、場合によっては増えることもある。行革はトップが姿勢を示す事も大切。前市長の給与3

割カットは継続しないのか。そういう考えは取らない。学力向上には、自ら考える力と基礎学力が必要。家庭学習の促進や、大田原市等他自治体の事例を研究すべき。基本的には同じ考え。県の学力テストも活用していく。

②市管理の電球について。全てをLED化するべき。全施設を基本としている。③水害対策について。台風9号で溢れた唐沢堀の抜本的な対策が必要である。三芳町に雨水対策をお願いする他、対策を考えたい。

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送
録画映像 会議終了後1週間程度で配信
スマートフォン・タブレット・パソコンで閲覧できるようになりました。
議長の公務記録や政務活動費の領収書などの議会の情報もホームページで公開しています。

富士見市議会 検索 とクリック。

表紙写真を募集

議会だよりの表紙写真を募集しています。下記の要領でご応募をお願いします。

- ◆カラー写真 ◆送付先 〒354-8511 富士見市大字鶴馬1800番地1 富士見市議会事務局 あて TEL 049-251-2711 (内165・166) FAX 049-255-9637 メールアドレス gikai@city.fujimi.saitama.jp
- ◆被写体のテーマ 「私が選んだ富士見市百景」
- ◆写真(2L版)が写真データ ◆受付は随時行っています。 *応募写真、データは返却いたしません。 *写真のタイトル・撮影日時・場所を明記 ◇採用の方には、富士見市の特産品を贈呈します。

決算議案に対する各会派の討論

平成27年度の一般会計
他7会計の決算は、議員全員で構成された予算決算常任委員会（根岸委員長・伊勢田副委員長）に付託し、総務、文教福祉建設環境の3分科会において審査ののち、予算決算常任委員会で採決しました。

本会議最終日には、予算決算常任委員会委員長が委員会審査報告を行った後、質疑、討論、採決が行われました。

ここでは、定められたスペースで各会派が執筆した原稿を掲載しました。

21・未来クラブ (認定)
平成27年度は「魅力と賑わいのある暮らしやすいまちづくり」を目標とした予算が執行されたかを審議した。

歳入面では、収納率対策や自主財源確保等の対策を評価する。歳出面では、市民生活上に不可欠な施策に関し、しっかりと対応が図られたと認識出来る。

来年度以降も「誰もが住みたい、住み続けたい、選ばれぬまち富士見市」を目指し効果的な予算編成を要望し、認定とする。

富士見市民ネットワーク(認定)
歳入は、大型商業施設の増収増。地方消費税交付金や、個人市民税の伸びがあった。

歳出では、病児保育の開始。放課後児童クラブの増設や改修など、ピアサフジみの児童館開設、食育推進室の関係機関との更なる連携を要望する。

「地方創生」では市民と市の将来像を検討し貴重な成果を得た。市内公共交通会議の進捗状況や、キラリふじみへの支援は評価するが、プレミアム付き商品券の発売は慎重な判断が求められたのでは。

て整備するために必要となる用地をあらかじめ取得する事業予算。

《予算規模》 [321万300円]

議案第89号
富士見市土地開発公社の解散について (全会一致可決)

富士見市土地開発公社による用地取得の必要性が薄れてきたことから、解散するもの。

陳情審査報告

《総務常任委員会》
陳情第9号
富士見市非核平和都市宣言の検証・見直しを求める陳情 (不採択)

陳情者 富士見市みらいの会 徳田 光男

陳情第10号
採択された請願・陳情のその後の処理状況のウェブ公表を求める陳情 (採択)

陳情者 富士見市みらいの会 永井 由紀子

陳情第11号
各種団体からの市当局への要望書・市の回答等のウェブ公開を求める陳情 (不採択)

陳情者 富士見市みらいの会 永井 由紀子

《建設環境常任委員会》
陳情第12号
勝瀬原特定土地区画整理組合が提起した平成20年土地明渡等請求訴訟への市職員の関与の有無について調査を求める陳情 (不採択)

陳情者 増田 茂

る要因にもなっている。

よって、国会及び政府に対し、公職選挙法を改正し、同法第142条に規定する法定ピラの頒布を地方議会議員選挙においても可能とするよう強く要望する。

提出先
衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、総務大臣

砂川堀雨水幹線の抜本的な治水対策を求める意見書
台風9号の大雨は、砂川堀雨水幹線堤防の越水等、周辺の住居、公共施設等に甚大な被害を与えた。

本幹線の流域である5市1町が、各自治体で対策を講ずるにも限界があるため、河道整備・調整機能の拡充、さらには一級河川としての位置づけ等も含めた抜本的な治水対策を速やかに講じていただくよう知事に対し要望する。

提出先 埼玉県知事

ラデシユの発展のため尽力された方々の無念を思うと痛恨の極みである。

富士見市民を含む多くの死者が出たこの惨事に対し、市民を代表し、犠牲になられた方々並びにその御家族の方々に対し心から哀悼の意を表するとともに、負傷された方々に対し心からお見舞いを申し上げます。

残虐非道なテロ行為は、とうとう人命を奪うとともに、民主主義を踏みしじり、世界平和を脅威にさらすものである。

こうした行為は、いかなる理由であれ、国際社会において厳しく糾弾されるべきものであり、断じて許すことは出来ない。

富士見市議会は、日本を初め世界各国の政府に対し、テロの根絶に向け、徹底した取り組みと真の世界平和の実現を強く求めるものである。

ここに、決議する。

排水路・唐沢堀・南畑排水路の冠水によって、床上浸水23件・床下浸水72件の被害が発生しました。

被災住民の声は、「床上浸水したために畳がダメになっていました。工事費用がかかっています」「水害による工事費の負担が大きく、年金生活者にとっては大きい打撃です」など深刻な状況です。

富士見市災害見舞金支給条例は、「住居の床上浸水」の場合2万円の見舞金であり、「床下浸水」は規定がありません。また、高齢化が進み、単身世帯が増えている状況で単身世帯の場合は2分の1に減額されています。この条例は、昭和44年10月に施行され、それ以降、平成2年に見直しがありました。予想しなかった自然災害を受けた市民に対する見舞金としては、今日の経済状況を鑑みると災害見舞金は引き上げることが必要です。

近隣の状況を踏まえ「住居の床上浸水見舞金」の引き上げと「床下浸水」を含めた見直しを求めます。また、平成28年8月22日以後に発生した災害に適用し、必要な予算措置を行うことを求めます。

ここに、決議する。

9月定例会 議案審議報告

議案第74号
平成28年度富士見市一般会計補正予算(第3号)
(賛成多数可決)

既定の予算に2億1600万7000円を追加し、予算の総額を339億7249万7000円とするものです。

《主な内容と金額》

- ・公立保育所、みずほ学園、民間保育所等に、事故予防等のためのビデオカメラ設置費用を補助するための補正。〔376万9000円〕
- ・富士見れんげこども園(大字水子地内)の施設増築工事に対して補助を行うための補正。よって、定員90人から60人増の150人となる。〔938万2000円〕
- ・平成28年10月からB型肝炎ワクチンが定期接種化されることに伴い、ワクチン接種に係る経費を増額するための補正。〔137万9000円〕

議案第79号
平成28年度富士見市公共用地先行取得事業特別会計予算(全会一致可決)

将来、道路や公園などとし

て整備するために必要となる用地をあらかじめ取得する事業予算。

《予算規模》 [321万300円]

議案第89号
富士見市土地開発公社の解散について (全会一致可決)

富士見市土地開発公社による用地取得の必要性が薄れてきたことから、解散するもの。

る要因にもなっている。

よって、国会及び政府に対し、公職選挙法を改正し、同法第142条に規定する法定ピラの頒布を地方議会議員選挙においても可能とするよう強く要望する。

提出先
衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、総務大臣

砂川堀雨水幹線の抜本的な治水対策を求める意見書
台風9号の大雨は、砂川堀雨水幹線堤防の越水等、周辺の住居、公共施設等に甚大な被害を与えた。

本幹線の流域である5市1町が、各自治体で対策を講ずるにも限界があるため、河道整備・調整機能の拡充、さらには一級河川としての位置づけ等も含めた抜本的な治水対策を速やかに講じていただくよう知事に対し要望する。

提出先 埼玉県知事

ラデシユの発展のため尽力された方々の無念を思うと痛恨の極みである。

富士見市民を含む多くの死者が出たこの惨事に対し、市民を代表し、犠牲になられた方々並びにその御家族の方々に対し心から哀悼の意を表するとともに、負傷された方々に対し心からお見舞いを申し上げます。

残虐非道なテロ行為は、とうとう人命を奪うとともに、民主主義を踏みしじり、世界平和を脅威にさらすものである。

こうした行為は、いかなる理由であれ、国際社会において厳しく糾弾されるべきものであり、断じて許すことは出来ない。

富士見市議会は、日本を初め世界各国の政府に対し、テロの根絶に向け、徹底した取り組みと真の世界平和の実現を強く求めるものである。

ここに、決議する。

排水路・唐沢堀・南畑排水路の冠水によって、床上浸水23件・床下浸水72件の被害が発生しました。

被災住民の声は、「床上浸水したために畳がダメになっていました。工事費用がかかっています」「水害による工事費の負担が大きく、年金生活者にとっては大きい打撃です」など深刻な状況です。

富士見市災害見舞金支給条例は、「住居の床上浸水」の場合2万円の見舞金であり、「床下浸水」は規定がありません。また、高齢化が進み、単身世帯が増えている状況で単身世帯の場合は2分の1に減額されています。この条例は、昭和44年10月に施行され、それ以降、平成2年に見直しがありました。予想しなかった自然災害を受けた市民に対する見舞金としては、今日の経済状況を鑑みると災害見舞金は引き上げることが必要です。

近隣の状況を踏まえ「住居の床上浸水見舞金」の引き上げと「床下浸水」を含めた見直しを求めます。また、平成28年8月22日以後に発生した災害に適用し、必要な予算措置を行うことを求めます。

ここに、決議する。

日本共産党 (不認定)
子どもや高齢者などの「貧困と格差」が社会問題となっているなか、市民の暮らしを守る立場に立つかが問われている。差押え件数が平成26年度297件から平成27年度421件に大幅に増加したが、収納率の向上ありきではなく、市民の困りごと相談に積極的に乗る行政であるべき。一般会計10億円の赤字は国保や介護などの市民負担軽減のために使うこともできたはずである。今こそ暮らしを支え福祉を充実させる市政に転換を求めます。

草の根 (認定)
昨年度は大型商業施設の開業や市街地の形成等により、市税収入が伸びた。また、収納率やまちづくり寄付金も伸びており評価したい。今後も債権管理条例の制定等、更なる自主財源の確保に努めて頂きたい。補助金の執行手続きを定めたガイドラインについては被交付団体の活動が委縮しないよう留意されたい。実質収支比率が適正比率を若干オーバーしている。年度途中の減額補正等、限りある予算の有効活用を求め認定とする。

市民の絆 (認定)
決算内容は、歳入・歳出とも昨年を下回るものになった。そのなかで、自主財源及び依存財源とも増加要因と減少要因が大きくなっている。

施策面では、子育て支援施策や、地域密着型の介護福祉施策など社会保障への取り組みを評価する。

大型商業施設ができ、税収を含め雇用も増えた。同時に待機児童も増加している。今後も対応を望む。子どもの貧困対策として、給食の無償化を要望し認定する。

る要因にもなっている。

よって、国会及び政府に対し、公職選挙法を改正し、同法第142条に規定する法定ピラの頒布を地方議会議員選挙においても可能とするよう強く要望する。

提出先
衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、総務大臣

砂川堀雨水幹線の抜本的な治水対策を求める意見書
台風9号の大雨は、砂川堀雨水幹線堤防の越水等、周辺の住居、公共施設等に甚大な被害を与えた。

本幹線の流域である5市1町が、各自治体で対策を講ずるにも限界があるため、河道整備・調整機能の拡充、さらには一級河川としての位置づけ等も含めた抜本的な治水対策を速やかに講じていただくよう知事に対し要望する。

提出先 埼玉県知事

ラデシユの発展のため尽力された方々の無念を思うと痛恨の極みである。

富士見市民を含む多くの死者が出たこの惨事に対し、市民を代表し、犠牲になられた方々並びにその御家族の方々に対し心から哀悼の意を表するとともに、負傷された方々に対し心からお見舞いを申し上げます。

残虐非道なテロ行為は、とうとう人命を奪うとともに、民主主義を踏みしじり、世界平和を脅威にさらすものである。

こうした行為は、いかなる理由であれ、国際社会において厳しく糾弾されるべきものであり、断じて許すことは出来ない。

富士見市議会は、日本を初め世界各国の政府に対し、テロの根絶に向け、徹底した取り組みと真の世界平和の実現を強く求めるものである。

ここに、決議する。

排水路・唐沢堀・南畑排水路の冠水によって、床上浸水23件・床下浸水72件の被害が発生しました。

被災住民の声は、「床上浸水したために畳がダメになっていました。工事費用がかかっています」「水害による工事費の負担が大きく、年金生活者にとっては大きい打撃です」など深刻な状況です。

富士見市災害見舞金支給条例は、「住居の床上浸水」の場合2万円の見舞金であり、「床下浸水」は規定がありません。また、高齢化が進み、単身世帯が増えている状況で単身世帯の場合は2分の1に減額されています。この条例は、昭和44年10月に施行され、それ以降、平成2年に見直しがありました。予想しなかった自然災害を受けた市民に対する見舞金としては、今日の経済状況を鑑みると災害見舞金は引き上げることが必要です。

近隣の状況を踏まえ「住居の床上浸水見舞金」の引き上げと「床下浸水」を含めた見直しを求めます。また、平成28年8月22日以後に発生した災害に適用し、必要な予算措置を行うことを求めます。

ここに、決議する。

る要因にもなっている。

よって、国会及び政府に対し、公職選挙法を改正し、同法第142条に規定する法定ピラの頒布を地方議会議員選挙においても可能とするよう強く要望する。

提出先
衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、総務大臣

砂川堀雨水幹線の抜本的な治水対策を求める意見書
台風9号の大雨は、砂川堀雨水幹線堤防の越水等、周辺の住居、公共施設等に甚大な被害を与えた。

本幹線の流域である5市1町が、各自治体で対策を講ずるにも限界があるため、河道整備・調整機能の拡充、さらには一級河川としての位置づけ等も含めた抜本的な治水対策を速やかに講じていただくよう知事に対し要望する。

提出先 埼玉県知事

ラデシユの発展のため尽力された方々の無念を思うと痛恨の極みである。

富士見市民を含む多くの死者が出たこの惨事に対し、市民を代表し、犠牲になられた方々並びにその御家族の方々に対し心から哀悼の意を表するとともに、負傷された方々に対し心からお見舞いを申し上げます。

残虐非道なテロ行為は、とうとう人命を奪うとともに、民主主義を踏みしじり、世界平和を脅威にさらすものである。

こうした行為は、いかなる理由であれ、国際社会において厳しく糾弾されるべきものであり、断じて許すことは出来ない。

富士見市議会は、日本を初め世界各国の政府に対し、テロの根絶に向け、徹底した取り組みと真の世界平和の実現を強く求めるものである。

ここに、決議する。

公明党 (認定)
平成27年度の一般会計歳入歳出決算を見ますと、歳入は328億3396万993円。歳出は314億2552万447円となりました。

事業内容を見ますと第5次基本構想中期基本計画推進のもと、子育て支援や介護、福祉など全体にバランスのとれた施策が実施されています。

行財政改革では自主財源の確保や庁舎事務所等のLED化の取り組みを評価します。

今後も「魅力と賑わいの暮らしやすいまちづくり」を要望し認定の討論と致します。

市民の絆 (認定)
決算内容は、歳入・歳出とも昨年を下回るものになった。そのなかで、自主財源及び依存財源とも増加要因と減少要因が大きくなっている。

施策面では、子育て支援施策や、地域密着型の介護福祉施策など社会保障への取り組みを評価する。

大型商業施設ができ、税収を含め雇用も増えた。同時に待機児童も増加している。今後も対応を望む。子どもの貧困対策として、給食の無償化を要望し認定する。

る要因にもなっている。

よって、国会及び政府に対し、公職選挙法を改正し、同法第142条に規定する法定ピラの頒布を地方議会議員選挙においても可能とするよう強く要望する。

提出先
衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、総務大臣

砂川堀雨水幹線の抜本的な治水対策を求める意見書
台風9号の大雨は、砂川堀雨水幹線堤防の越水等、周辺の住居、公共施設等に甚大な被害を与えた。

本幹線の流域である5市1町が、各自治体で対策を講ずるにも限界があるため、河道整備・調整機能の拡充、さらには一級河川としての位置づけ等も含めた抜本的な治水対策を速やかに講じていただくよう知事に対し要望する。

提出先 埼玉県知事

ラデシユの発展のため尽力された方々の無念を思うと痛恨の極みである。

富士見市民を含む多くの死者が出たこの惨事に対し、市民を代表し、犠牲になられた方々並びにその御家族の方々に対し心から哀悼の意を表するとともに、負傷された方々に対し心からお見舞いを申し上げます。

残虐非道なテロ行為は、とうとう人命を奪うとともに、民主主義を踏みしじり、世界平和を脅威にさらすものである。

こうした行為は、いかなる理由であれ、国際社会において厳しく糾弾されるべきものであり、断じて許すことは出来ない。

富士見市議会は、日本を初め世界各国の政府に対し、テロの根絶に向け、徹底した取り組みと真の世界平和の実現を強く求めるものである。

ここに、決議する。

排水路・唐沢堀・南畑排水路の冠水によって、床上浸水23件・床下浸水72件の被害が発生しました。

被災住民の声は、「床上浸水したために畳がダメになっていました。工事費用がかかっています」「水害による工事費の負担が大きく、年金生活者にとっては大きい打撃です」など深刻な状況です。

富士見市災害見舞金支給条例は、「住居の床上浸水」の場合2万円の見舞金であり、「床下浸水」は規定がありません。また、高齢化が進み、単身世帯が増えている状況で単身世帯の場合は2分の1に減額されています。この条例は、昭和44年10月に施行され、それ以降、平成2年に見直しがありました。予想しなかった自然災害を受けた市民に対する見舞金としては、今日の経済状況を鑑みると災害見舞金は引き上げることが必要です。

近隣の状況を踏まえ「住居の床上浸水見舞金」の引き上げと「床下浸水」を含めた見直しを求めます。また、平成28年8月22日以後に発生した災害に適用し、必要な予算措置を行うことを求めます。

ここに、決議する。



市民の声

子どもたちと一緒に

泉谷 五十鈴

鳴る芽をスーッと抜いてピーピーと鳴らすと「草なんかくわえていいの?」と聞かれます。芝生に寝転がると「草の中って、放射能多いんだよ」と心配するのです。これは『福島の子どもたちと北海道で遊ぶプログラム』で見た子どもたちの姿です。

原発事故から既に6回の夏が過ぎました。除染が進められ故郷に帰れると喜ぶ人々の一方、子どもたちの甲状腺がんや白血病・心臓疾患などが増えているとニュースは伝えています。外遊びの制限からくる体力や気力の低下も心配と現地の先生方は言われます。せめて夏休みだけでも、思い切り土や水に触れて走り回り、畑の野菜にかぶり付いてほしいとの願いから、六年続江夏のプログラムです。短期間でも放射能から離れて過ごすことで体内蓄積放射線物質の排泄がみられ、外遊びで得られる心の解放が全身の健康をもたらすとチェルノブイリの医師たちは発表しています。

ささやかな、私の夏の体験報告です。

新市長就任後初めての議会となる9月定例会が終わり、新市長に対しては政策方針や市政等に対する諸見解を問いました。また、平成27年度の決算審議では、各会派がそれぞれの立場から、市民が納めた税金がどのように使われたかをチェックしました。さらに、8月の台風9号の被害についても、水害の原因や今後の対策について活発な議論が交わされました。引き続き皆さんのご意見をお寄せください。

編集後記